

## 全国初、2県に跨がる スマートインターチェンジの誕生

### 1. はじめに

九州の北部に位置する福岡県は、九州と本州を結ぶ交通の要衝です。海外に目を向けると福岡ー上海間の距離は福岡ー東京間とほぼ同じであり、本県は中国、韓国など近隣諸国の主要都市から極めて近い位置にあります。

また、古くから我が国とアジアとの交流の窓口として、遠の朝廷とよばれた大宰府政庁や外国使節の迎賓館である鴻臚館がおかれていました。現在でも、都心部に近く世界有数の利便性を誇る福岡空港、九州で唯一24時間利用可能で貨物定期便が就航している北九州空港、さらには、2つの国際拠点港湾及び2つの重要港湾、新幹線、高速道路など優れた交通ネットワークを有しています。アジアに最も近い大都市圏であり、我が国のゲートウェイとして重要な役割を果たしています。

このような地理的環境も生かして、日本を牽引し、世界から選ばれる福岡県となるため、「1,000億円の人づくり」、「県内GDP20兆円への挑戦」、「安全・安心で活力ある社会づくり」の3つの柱のもと、県政を進めています。

### 2. 県内GDP20兆円への挑戦

本県は、基幹産業である自動車産業をはじめとして、半導体、バイオ、宇宙ビジネスや水素エネルギーなどの成長産業分野の企業が多数立地しています。また、いちごの「あまおう」などブランド品目を数多く有する農林水産業も盛んで、第1次から第3次までの多様な産業がバランス良く集積しています。そして、38の国公立・私立大学から毎年約3万人の卒業生を輩出しており、アジ

アを中心に約2万人の留学生が学ぶなど、優秀な人材の宝庫でもあります。

多様な産業の発展や県内で学んだ人材の活躍により県内GDP20兆円を実現するためには、人とモノを運ぶ交通インフラの更なる充実が不可欠です。

### 3. 2県に跨がるインターチェンジ

九州縦貫道路（福岡県～鹿児島県）と九州横断道路（長崎県～大分県）の高速道路がクロスする小郡・鳥栖地域では、すでに鳥栖インターチェンジを中心に大規模な産業団地が形成されていますが、旺盛な企業立地の需要に充分に対応できない状況でした。このため、鳥栖ジャンクションから南に約3kmの場所に、全国初となる2県に跨がる小郡鳥栖南スマートインターチェンジ（以下「SIC」という。）を設置しました。SICの設置により、産業団地などの整備が促進されて新たな企業の受け入れ環境が整い、既存の産業団地は高速





福岡県知事 **服部 誠太郎**

道路へのアクセス時間短縮による物流の効率化が図られます。さらに、国道3号などの両県の幹線道路からSICへ直接アクセスし、2県をつなぐ1.6kmの新たな県道を佐賀県と協働で整備しました。これにより、県境のシームレスな土地利用が促進されます。

SIC設置や県道の整備の実現には、福岡県、小郡市と佐賀県、鳥栖市及びNEXCO西日本の5者の密接な連携が重要なポイントの一つでした。多くの地権者からの用地取得や7つに及ぶ橋など大規模な構造物工事を要したにもかかわらず、事業化からわずか5年10ヶ月で全てを供用できたのは、その大きな成果のひとつです。

#### 4. 工夫を凝らした設計・工事、これからの財産に

SICの設計・工事は、安全性や利便性のもとより、コストの削減を図り、資源の有効活用など新たな手法を取り入れました。まず、九州では初となる環道型退出路を採用し、料金所関連施設をコンパクトな構造としました。また、平成29年九州北部豪雨による土砂災害で発生した土を改良するなどして盛り土材として約50万m<sup>3</sup>を活用し



供用後の全景写真

ています。さらに、1日6万台を超える交通量がある6車線の高速道路上に2つの橋梁を設置する必要がありましたが、多軸式特殊台車を用いてわずか一夜の交通規制で架設を行い、交通への影響を最小限に抑えることに成功しました。今回の設計・工事でも得られた知見は、これからの公共工事に向けた大きな財産となりました。

#### 5. 地域からの期待の声、ここからがスタート

SICは、ETCを付けた全車種が24時間利用可能で全方向対応となっています。地域の方々からは、「国道3号の慢性的な交通混雑が緩和され、物流輸送の効率化が進み、地域が大きく発展すると期待」（産業団地関係者）、「物流危機である2024年問題解決の手段として、大いに期待」（物流関係者）、「警察や救急車がいち早く駆けつけることができ、一人でも多くの助かる命につながれば」（医療関係者）といった期待の声が数多く聞かれています。

SICの誕生によって、地域がシームレスに発展を続けていくスタートラインに立ちました。これまで一体となって事業を進めた5者を中心に、多くの方々との連携の輪を更に広げ、地域の発展に努力していく所存です。

#### 6. おわりに

本年11月に福岡県において一般社団法人全日本建設技術協会による建設技術講習会が開催されます。現場研修では「金丸川・池町川浸水対策重点地域緊急事業」などを視察いただく予定です。皆さまのお越しをお待ちしております。